**平成２９年度第２回大阪府がん対策推進委員会患者支援検討部会（議事概要）**

**１．日　時：**平成29年１１月１７日（月）1８時～

**２．場　所：**國民会館住友生命ビル12階　小ホール

**３．議　事：**（1）第３期大阪府がん対策推進計画（案）について

（2）その他

**４．委員からの意見要旨**

（1）第３期大阪府がん対策推進計画（案）について

**【意見要旨】**

**＜基本理念＞**

○人として尊重するような言葉がどこかに入らないか気になったが、患者の尊厳に関する文言を追加できないか。

**＜全体目標＞**

**≪がん患者・家族における生活の質の向上≫**

○がん患者の生活の質は自ずと下がってしまう。「向上」は標準よりも上という意味にも捉えられるため、医療者にとってはプレッシャーになる。生活の質が下がらないような「確保」「維持」といった表現にできないか。

**＜大阪府のがん対策の現状と課題＞**

○がん患者の相談支援センター利用状況の調査について、がん相談支援センターの存在を知らない割合が１８．６％とあるが、その原因は考えているか。原因に対処すれば、知らない割合が下がる。

○大阪府におけるがん患者の悩みやニーズに関する実態調査の結果として、例えば「経済的問題に関する情報が欲しい人の割合」のように患者のニーズ内容ごとのデータも掲載してほしい。

**＜基本的な取組み＞**

○がん医療の充実に関する記載について、後から出てくる文言と一致させて”「（府民誰もが心身ともに適切な医療を受けられる体制整備）」”としてはどうか。また、患者の尊厳に関する文言を追加できないか。

**＜個別の取組と目標＞**

**≪患者支援の充実≫**

**[数値目標]**

○「相談支援センターの認知度の向上」とあるが、対象が府民全般なのか、がん患者なのか、わかりやすい表現にしたらどうか。

**[モニタリング指標]**

○昨年度国から相談件数の統一したカウント方法が示された、今年度から取組むよう言われている。大阪府でも積極的に取入れ、施設間の比較等にも活用したい。

○府の取組み以外の要因、例えば社会情勢やがん医療の進歩等によっても相談件数に影響が出る可能性がある。

○相談件数のカウント方法については、例えば相談員以外が対応した場合はどうするか等は決められていないため、バラツキが生じる可能性がある。

**[がん患者への情報提供]**

○大阪府が作成する地域の療養冊子は配布数が限られているため、不足気味である。

 **[就労支援等のサバイバーシップ支援]**

○"②働く世代のがん患者の就労支援の推進"を、“様々な働く世代の・・”として、企業に勤める人以外にも支援することを表現できないか。

○企業向けの支援として、国が行っている障害者雇用安定助成金についても計画に記してもよいのではないか。

○就労支援に取組む企業を表彰するような制度について記載できないか。

（2）その他

なし